電動停電作動型駆動部 取扱説明書

適用製品：電動停電作動駆動部

TE_R、TC_R、TJ_R、TB_R、Ti_R、Ti_RR、TF_R、TF_RR、TG_R、TG_RR

１、製品概要

緊急作動用のロータリー式電動駆動部です。通電時には自動復帰し、電力供給が無くなると、ゼンマイバネの力で、作動ポジションへ動作致します。
電力消失時に動作させたい系統に使用するバルブ用電動駆動部です。

２、製品の特徴

・ロータリーアクチュエータであり、幅広い口径、種類のバルブに対応が可能
・停電作動にゼンマイバネを用いており、動作不良のリスク少
・専用に開発したモーター、ブレーキを用いる事で、低消費電力を実現

３、安全上の注意

・ご使用前に本書を良くお読みのうえ、正しくお使い下さい
　お読みになった後は、本書を、いつでも見られる場所に保管して下さい
・弊社が承諾した場合を除き、本製品を人命に関わるような用途で使用しないで下さい
・万全を期した設計になっておりますが、設置環境や使用条件によっては
　早期に故障する場合があります。日常点検は必ず実施して下さい

警告と注意について

⚠ 警告…取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が生じると想定される場合
⚠ 注意…取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う、又は物的損害が想定される場合

絵表示

記号は、明白な誤操作や、誤使用によって発生する危険を警告する目的で表示します（左図は感電注意の例）
記号は、危険の発生を回避する為に、特定の行為を禁止する場合に表示します（左図は分解禁止の例）
記号は、危険の発生を回避する為に、特定の行為を義務付ける為に表示します（左図は一般指示の例）

⚠ 警　告
本製品群の中には、質量が 18kg 以上に達する製品があります。 搬送や組付作業は、運搬や吊り器具を用いるか、２人以上で行って下さい。 又、製品の落下には十分注意して下さい。
結線作業は、専門の技術を有する人が行って下さい。又、結線作業時は、必ず電源をお切りください
結線作業後は端子箱の蓋を取り付けて下さい。 結線完了後、製品へ触れる必要がある時には、必ず電源が切れている事を確認してから、触れて下さい。 尚、進相コンデンサの残留電荷によって感電する恐れがありますので、電源を切った後 数分が経過してから製品へ触れて下さい。
製品は分解しないで下さい
可動部分には手を触れないで下さい
製品を改造して使用しないで下さい。 改造には、ストッパボルトやカムの角度調整も含まれます

⚠注　意
製品は、製品仕様書に定められた範囲内で使用して下さい
直射日光や風雨が当る場所を極力避けて設置して下さい
塩害地域で使用する場合には、別途対策を施す必要があります
熱や湿気がこもらない換気の良い場所へ設置して下さい。 又、腐食性ガスや、可燃性ガス、シリコーンガスが存在する場所では使用しないで下さい。
振動がある箇所への設置は避けて下さい
電線管入線口、端子箱の蓋等から水やホコリが浸入しないように設置してください
メンテナンスの為、周囲に十分な空間を確保出来る場所へ設置して下さい
断熱材等、放熱の妨げになるようなもので駆動部を覆わないで下さい
端子、及び端子箱のネジは確実に締めて下さい。 圧着端子には絶縁被覆を取り付けて下さい。
安全及びメンテナンスの為、操作盤側に ヒューズ や ブレーカー等 を設置して下さい
各接続箇所に、緩みが無いことを確認して下さい
製品の上に乗ったり、足を掛けたりしないで下さい。 又、製品へ衝撃を与えないで下さい。
連続で開閉操作を行うと、短期間で製品が故障する恐れがあります
本製品群はメンテナンスフリー設計です。定期的なグリスアップや注油の必要はありません
不要になった時は、産業廃棄物として処分して下さい。 危険ですので、製品は分解しないで下さい。
吊り上げ作業を行う場合、吊り荷の下には人が入らないよう十分に注意して下さい
手や指等を挟まないよう、十分に注意して作業して下さい

４、組付注意事項

4-1 全機種共通

・非通電状態で作業を行って下さい

・出力軸とバルブステム軸の 芯 が合うように組付けて下さい

・組付ボルトは、片締めにならないよう、均等な力で徐々に締めこんで下さい

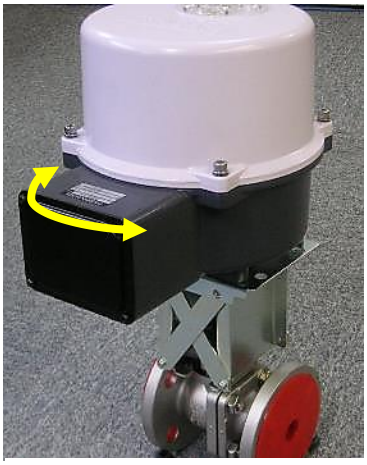
・筐体は、アルミ合金製 です。取付ボルトは適切なトルクで締め付けて下さい

・締切、解放位置の調整は、軸回転方向の組付け角度を調整する事で行って下さい

・駆動部のカバーを外さないで下さい

・端子箱奥にネジを落下させないように注意して下さい

[4-1 締切･開放位置調整]



駆動部全体を回して位置を調整

4-2 TE_R、TC_R シリーズ

・出力軸に付属している「補強リング」を、装着したままご使用下さい

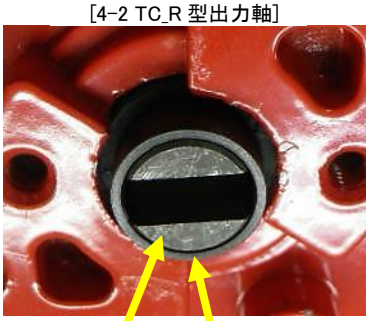
・手動操作軸に過大な力を掛けないで下さい

4-3 TJ_R、TJ_RR、Ti_R、Ti_RR、TF_R、TF_RR、TG_R、TG_RR シリーズ

・ストッパーボルトを動かさないで下さい

[4-3 Ti 型駆動部下部]

[4-2 TC_R 型出力軸]



＜日常点検＞

項　目	頻　度	内　　容
日常点検	週１回程度	異音の発生有無等をチェックして下さい
安全点検	６ヶ月に１回程度	各部ボルトの緩み、製品外観の状況等をチェックして下さい
動作点検		開閉動作を行い、タイミングが規定値内であることを確認して下さい

＜異常発生時＞

状　　況	対応方法・原因
通電しても復帰しない	● 結線に間違いが無いか確認して下さい ● 端子間に規定の電圧がかかっているか確認して下さい ● 負荷が極端に増大していないか確認して下さい 上記項目を確認し問題が無い場合には、設置環境を確認の上 弊社まで連絡をお願いします
停電になっても作動しない 作動速度が異常に遅い	● 駆動部の開度表示板を確認しながら電源を投入し、 以下の項目をチェックして下さい ・正常に復帰し、停電で速やかに作動する場合 → 閉信号接点の異常が考えられるので、 信号接点をテスター等で確認します ・停電作動中に途中で止まってしまう場合 又は、作動速度が異常に遅い場合 → 負荷の異常を確認します 上記項目を確認し問題が無い場合、製品が故障していると考えられます 設置環境を確認の上、弊社まで連絡をお願い致します。
駆動部から異音が発生する	● 様々な要因が考えられますので、弊社までご一報下さい ・ゼンマイバネ巻上時に発生する不連続なガリガリ音や衝撃音は 故障ではありません ・停電作動後に高いうなり音が発生する製品がありますが、 異常ではありません

異常発生時には上記項目をご確認し、銘板に記載された型式、シリアルＮｏを弊社迄お知らせ下さい

株式会社 テクノバッグ
〒130-0012　東京都墨田区太平 3-11-10　大野ﾋﾞﾙ５Ｆ
TEL.03-3623-2441　FAX.03-3623-2447
MAIL　　info@technobag.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.technobag.jp

TECHNOBAG
株式会社 テクノバッグ

テクノバッグ製品の 保証・免責事項

＜製品保証＞

製品は、厳格な管理の元に生産され、動作確認を行った後に出荷されておりますが、万が一不具合が発生した場合には、新品交換、若しくは 無償修理対応 をさせて頂きます。

・保証期間は、弊社出荷後 1 年間となります。

・保証適用に該当する製品については、原則 弊社までお送り頂きます。
お送り頂く事が困難な場合には出張対応致しますが、設置環境によっては作業が出来ない場合があります。
その場合には、製品の保証対応は出来ません。

・以下の①～⑪に該当する場合、製品保証の適用はされず 全て有償対応 となります。

① 日本国外での使用
② 仕様書や取扱説明書の規定範囲を超えての使用
③ 比例制御を行う製品について、弊社が承諾していない流体条件での使用
④ 取扱いの不備（落下、衝突、水没、放置、洗浄水の直射等）
⑤ 火災・落雷・水害等の天災地変、塩害や公害による故障
⑥ 弊社に無断で改造を行った場合（カムやストッパの再調整も改造に含みます）
⑦ 本製品以外に起因する不具合
⑧ 離島や山中等、遠隔地や到達困難地域への出張対応
⑨ 製品製作当時の科学・技術水準では、予見不可能だった現象
⑩ 消耗部品に関連する不具合（消耗部品とは、ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾊﾟｯｷﾝ等の摩耗・消耗する事を前提に設計された部品の事を指します）
⑪ 弊社が承諾していないルート（インターネット通販、オークション等）での転売品

・保証対応時、及び対応後に上記 ①～⑪ の事項に該当する事が発覚した場合には費用を請求させて頂きます。

・個別に定める保証規定が存在する場合には、そちらに記された事項が優先となります。

＜免責事項＞

・製品保証は、弊社製品単体へ適用するものであり、製品以外へ及んだ部分に関しては責任を負いかねます。
又、交換工事等、間接的に掛かかった費用に関しても保証の範囲外となります。

・製品の設置に関して、不具合の発生に備えた設備設計として頂くと共に、受入検査、試運転、日常点検をお願いします。
これらを怠った事により、事故が発生しても弊社では責任を負うことは出来ません。
加えて以下の損害に対しても責任を負う事は出来ません。

1、生命に関わるような用途、核関連施設、兵器、宇宙、海底産業等、高度な安全性・信頼性が必要とされる用途に使用し、そこで発生した事故による損害
2、保証適用外となる条件で発生した傷害や損害
3、老朽化を放置したことによって発生した損害
4、製品を分解した際に発生した傷害や損害

＜報告書＞

保証適用範囲外で発生した不具合に関しては、原因調査をお断りする場合があります。
尚、原因調査は有償となる場合があります。

＜その他＞

・製品は使用状況によって寿命が大きく異なりますが、安全性の観点から故障が無くても 10 年以内に
新品へ交換して頂けますようお願い致します。

・試験成績表やバルブ本体の材料証明書が必要な場合には、発注時にその旨申し出願います。
製品製作後に 依頼を頂いても対応出来ません。
尚、弊社が規定している書式以外のものを要求される場合には、有償での対応となります。

・試験成績表、材料証明書以外の品質関連書類を発行する事は出来ません。

・製品は、予告なく変更、生産中止となる場合があります。

尚、販売中止となった製品に関しては修理の対応が出来ない場合があります。